

局長序

科技部の設置に伴い、2014年3月3日、南科管理局は「科技部南部科学工業園区管理局」として再スタートしました。これは南科が新たなステージに向かって飛躍するための重要なマイルストーンであると言えます。

国家科学委員会の傘下にあった頃の南科は開発成長期であり、水害や高速鉄道による振動、遺跡保存など様々な困難に見舞われながらも、これを転機として乗り越えてきました。現在の南科に振動の問題はありません。高速鉄道の高架下には一連の公共芸術も設置されました。美しい遊水池は園区だけでなく近隣一帯の水害リスクも解消し、幾千年もの昔にこの地に栄えた歴史文化は、間もなく建設される史前博物館で広く公開されることになっています。また、高度に集積の進んだ光電子、半導体、バイオ、精密機械などの産業のほか、グリーンエネルギー・低炭素、医療器材といった新しい産業の発展にも積極的に取り組んでいます。多くの企業が南科での生産拡大に踏み切り、毎年6千億元以上の売上高を記録しています。園区で働く就業者の数は2013年に7万人の大台を突破しました。

「科技部南科管理局」設置後の南科は「未来の事」に取り組まなければなりません。

産業集積については、既に順調な発展を遂げつつある企業をサポートする以外に、「創業工場」を設置して若手による起業や小規模ベンチャーを積極的に支援します。

文化芸術については、芸術文化と生活の融合を目標に毎年各種イベントを企画し、これまで北部の都市部に集中してきた芸術イベントを南部でも開催できるようにします。

持続可能な発展については、環境に配慮したエコ・コミュニティを目指し、園区で回収された残飯等を肥料として使用した安心・安全な食材を提供してもらえよう近隣農家と栽培契約を結びました。

皆様のご協力あってこそ南科です。一緒に「未来の事」を成し遂げましょう。



科技部南部科学工業園区管理局

局長

